

1. オリパラへの貢献

この夏のオリパラ TOKYO2020 は、開催に賛否両論がありましたが、神奈川県でもセーリング競技が行われました。

2年前には開幕式で日本丸合唱団に歌わせて貰おうと色々として始めましたが、良い返事を得られないまま、突然のコロナ禍で全てゼロに。今年の4月頃は、オリパラ中止の声が大きい中、大会運営局から連絡があり4/27の練習前に来ていただき話を聞きました。運営局課長さん、主事さん、県のスポーツ局セーリング課主査さん、主事さん、計4名の方々でした。



「このような状況下なので、本当に開催できるかも怪しいが、準備だけは進めたい。選手団はホテルに隔離される見込みで、潤いに乏しい。オリパラを盛り上げる映像がほしいので、日本丸の合唱映像を提供いただけませんか。なお、お受けいただいた場合も、部外秘としていただきたい。」「HPでオリパラに協力してます、と書いて良いですか。」「ダメです。」

あまりに無体な要請でしたが、受けることにしました。情けは人のためならず。そこで、近森さん作成のノルウェー遠征のビデオに英語キャプションをかぶせることにしました。

そして一週間、お忙しいなか近森さんがビデオを完成してくれました。そして提出。その後、なーんの連絡もなかったのですが、先週に突然の連絡。お礼に来たいという。そんなのいーですよ、と鶴野事務局長がいちおう返信しましたが、10/5の練習前に4人で来訪。その段階でもまだ秘密状態。

課長さん「ありがとうございます。選手のリラクスペース、卓球台などを置ける前に50インチビデオを置いて、流しました。待ってる選手たちが見てくれてました。見てくれる写真を撮って、証拠写真として持って来たかったのですが、それもNGでした。申し訳ないです。」

ところで手には、大きな紙袋が2つ。

そこで、練習前に配付しました。数が不揃いでしたので、不公平になってしまいましたが、次のように決断しました。



ピンバッジ

ピンバッジ、クーリングボディシート…全員に
名札ホルダー(2種)…全員に(赤か青か1つだけ)
ミニポーチ…10/5の練習出席者に

ブレスレット…10/5の欠席者に

以上の方法で、全員にまずお配りし、少し余るので、それはまた後日検討します。これまで内密にしていたことも含め、よろしくご理解のほどお願いします。

2. ある日のお遍路日記

去年秋から歩き遍路を始めました。火曜日は休めないし、ほどほどに忙しいし、コロナで地元は嫌がってるし、ようやく88寺のうち40寺を参拝、遍路道1140kmのうち620kmほどを歩きました。来春には結願したいと思っています。

7月29日(木)快晴：高知県西方、中村駅前の宿を出て後川を渡り、左岸を歩く。前方から来た中学生とおはよう。1時間ほど歩き、長い橋(687m)を渡る。川風が気持ち良い。思わず歌が出る。「Oh Shi-man-to, I love your daughter.」そう、ここは四万十川(国交省的には、渡川が正式名称)の最下流。

それから4時間、有名なお遍路宿「安宿」に到着。今日の宿ではないが、ここで昼ご飯。おっちゃんと話す。「10年前まではお客さんがいっぱい来た。2011年の震災・津波・原発大災害から、日本中でいろんな災害が起きている。お遍路に行く余裕がなくなったんだろう。それでも2-3年前まではお客さんも来てた。でも歩き遍路の8割は外国人。そしてコロナで、誰も来なくなった。」ここに泊まれば良かった、かも。

9月15日(水)曇のち雨：昨夕の練習、録音を近森さんに、INDEXと指導メモを鶴野さんに送って、寝て、あさ5時半に家を出る。今日の歩き始めは、前回の終点の土佐清水市久々。北に向かう。46日前の暑さがウソのように涼しく、寒い。誰ともすれ違わず、黙々と歩く。昨日の練習が頭に残ってる。ベースは歌わなくて良いのだが「Pull out the plug and wet him all over.」もう覚えてしまったよ。雨に濡れながら、水責めの歌を歌う。



(以上文責：山路永司)